

講義名	中国語中級 A			授業形態	
担当教員	森 宏子	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

すでに学んだ中国語の基礎を復習しながら、さらに新しいものを積み上げ、中国語の基本的な文法知識を一通りすべて学びます。中国語の文法は、英語のように多くはありませんが、それを実際に活かせるかどうかが問題です。中国語学習者によくありがちなタイプとして、発音を軽視し、リスニングはまったくお手上げという人がいます。「聞く、話す、書く、読む」すべてにおいて、中級レベルに達しなければ意味がありません。自分に足りない部分を知り、弱いところは、初心に戻って学び直す気持ちが必要です。

到達目標

基本的な中国語の読み書きができるようになる
中国語で日常のやりとりができるようになる
中国語検定試験のレベルを目安とすると、3級レベルの中国語を学習します。検定3級にチャレンジできる力を付けます

提出課題

授業でやり残したドリル

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

中間試験は返却した上で講評します。

評価の基準

次の点を総合的に判断します：
平常点（出席状況、受講態度） 20％
中間試験と期末試験 80％
中間試験、期末試験を受験しないと、授業を放棄したものとみなします。

履修にあたっての注意・助言他

・ややレベルの高い中国語のクラスです。対象学生は「ブラッシュアップ中国語」を終えた人、GSP（グローバル・スタディーズ・プログラム）生などを想定しています。初心者向けの授業ではありません。
・留学生の人は、日本語で中国語を学ぶことを理解した上で、履修して下さい。日本語への翻訳練習も多くなります。

教科書

・教材はプリントを配布します。

参考図書

・必要に応じて案内します。

その他

授業計画

1. 授業案内・ウォーミングアップ
予習：これまで使用した中国語テキストなどを見直しておく（2時間）／復習：教材プリントのふり返し、知らない文法・単語を自習する（2時間）
 2. 会話：祝你生日快乐？
予習：教材プリントに目を通す。会話文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 3. 講義：买衣服
予習：教材プリントに目を通す。講義文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：講義文の音読（できれば暗唱）、残りのドリル（2時間）
 4. 会話：电影快开演吧？
予習：教材プリントに目を通す。会話文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 5. 講義：做寒假作业
予習：教材プリントに目を通す。講義文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：講義文の音読（できれば暗唱）、残りのドリル（2時間）
 6. 会話：咱们快上去吧！
予習：教材プリントに目を通す。会話文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 7. 講義：妈妈的邮件
予習：教材プリントに目を通す。講義文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：講義文の音読（できれば暗唱）、残りのドリル（2時間）
 8. 会話：欢迎你来上海！
予習：教材プリントに目を通す。会話文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 9. 講義：旅行
予習：教材プリントに目を通す。講義文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：講義文の音読（できれば暗唱）、残りのドリル（2時間）
 10. 中間試験
予習：試験勉強（4時間）
 11. 中国に行こう
予習：教材プリントに目を通す。会話文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 12. ウーロン茶を飲もう
予習：教材プリントに目を通す。会話文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 13. 友達をつくろう
予習：教材プリントに目を通す。会話文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 14. 長城に登ろう
予習：教材プリントに目を通す。会話文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
 15. 漢字を覚えよう
予習：教材プリントに目を通す。会話文の音声を聞き、音読する（2時間）／復習：会話文の音読、残りのドリル（2時間）
- 教材はプリントを配布しますが、「さあ、中国語を学ぼう！」（白水社）の12課以降を使用する予定です。中間試験以降は別の教材を用意します

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、商学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験なし

備考